

舞鶴工業高等専門学校		開講年度	令和04年度 (2022年度)	授業科目	古典 A
科目基礎情報					
科目番号	0005		科目区分	一般 / 必修	
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修単位: 1	
開設学科	一般科目		対象学年	1	
開設期	前期		週時間数	2	
教科書/教材	検定教科書 『高等学校 言語文化』 (第一学習社) 参考書 『古典常識も学べる新明説総合古典文法』 (尚文出版), 『新訂総合国語便覧』 (第一学習社)				
担当教員	荻田 みどり				
到達目標					
1 歴史的仮名遣いを習得する。 2 伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。 3 いくつかの代表的な古典に描かれた、ものの見方を理解し、自分の意見を述べるができる。 4 漢文訓読、読解におけるルールを習得する。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安		
評価項目1	歴史的仮名遣いをほぼ正確に読むことができる。	歴史的仮名遣いを概ね正確に読むことができる。	歴史的仮名遣いを正確に読むことができない。		
評価項目2	伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を的確に説明できる。	伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できる。	伝統的な言語文化への興味・関心を広く持ち、その特徴を説明できない。		
評価項目3	古典の内容や表現の特徴を把握し、人物・心情・情景について十分に考えを巡らすことができる。	古典の内容や表現の特徴を把握し、人物・心情・情景について考えることができる。	古典の内容や表現の特徴を把握し、人物・心情・情景について考えることができない。		
評価項目4	漢文訓読、読解におけるルールを習得した。	漢文訓読、読解におけるルールを概ね習得した。	漢文訓読、読解におけるルールを理解できない。		
学科の到達目標項目との関係					
学習・教育到達度目標 (iv)					
教育方法等					
概要	古典作品の読解を通して日本文化や言葉に馴染み、ものの見方・考え方を広げる。読解に必要な基礎的知識・能力を習得するため、高校1年レベルの検定教科書掲載の作品を中心に採り上げる。適宜課題も課す。				
授業の進め方・方法	【授業方法】 授業は主に講義形式で進める。適宜、小テストや課題提出、グループワーク、発表等を課す。 【学習方法】 予習・復習は必ず行うこと。「なぜこうなのか」と、主体的に考えることを大事にする。わからないことがあれば、質問すること。				
注意点	【成績の評価基準・評価方法】 2回の定期試験を行う。時間は50分とする。2回の試験の平均 (70%) と、小テスト・提出課題・発表・質疑応答等 (30%) から、総合的に評価する。到達目標への到達度を評価基準とする。 【備考】 古語辞典は毎回持参すること。 【教員の連絡先】 研究室 B棟3階 (B-301) 内線電話 8904 e-mail: m.ogita@maizuru-ct.ac.jp (アットマークは@に変えること。)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	シラバス内容の説明, 古典入門, 古典を学ぶにあたって、仮名遣い	1, 2, 3	
		2週	『御伽草子』 「浦島太郎」, 古典文法 (品詞・活用形)	1, 2, 3	
		3週	『御伽草子』 「浦島太郎」, 古典文法 (動詞)	1, 2, 3	
		4週	『御伽草子』 「浦島太郎」, 古典文法 (動詞)	1, 2, 3	
		5週	『御伽草子』 「浦島太郎」	1, 2, 3	
		6週	『徒然草』	1, 2, 3	
		7週	『徒然草』	1, 2, 3	
		8週	中間試験	2, 3, 4	
	2ndQ	9週	中間試験返却, 漢文	2, 3, 4	
		10週	漢文「完璧」	2, 3, 4	
		11週	和歌	1, 2, 3	
		12週	和歌	1, 2, 3	

	13週	AIを使ってくずし字を読む	2, 3
	14週	『伊勢物語』	1, 2, 3
	15週	『伊勢物語』	1, 2, 3
	16週	(15週目の後に期末試験を実施) 期末試験返却・達成度確認	

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
----	----	------	-----------	-------	-----

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	0	20	0	100
基礎的能力	70	10	0	0	20	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0